

# 令和5年度和歌山市立太田小学校スクールプラン

## 和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

## 保護者・地域の願い

- 基礎基本に加え、児童の個性を伸ばしてほしい。
- 将来社会人として充実した生活が送れるように、相手の気持ちがわかる子どもになってほしい。
- 地域の中で子どもを育ててほしい。

## 【学 校 教 育 目 標】

豊かな心を持ち、自ら考え、正しく生きぬく子供を育成する

## 【めざす児童像】

- ① おもいやりのある子
- ② おもいきり勉強する子
- ③ たくましく生きる子

## 前年度の学校評価

- 国語科の授業研究を進めた。
- 子どもの学ぶ意欲は高い水準を保っている。
- 制限がある中、学校行事、外部人材を活用に努めた。

## 児童の実態

- 落ち着いて学習に取り組んでいる。
- 授業の中での対話的活動に基づく学びが成立できてきている。
- 挨拶・掃除等基本的な生活習慣は確立できている。

## 重点目標

### 豊かな心の育成

- ◎自然と挨拶をする子
- ◎掃除を愉しむ子
- ・読書が好きな子

### 確かな学力の向上

- ◎「対話的活動」を大切にした授業の推進
- ・自らの課題を追及していく子
- ・基本的な知識及び技能のある子

### 健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ・保健指導の充実
- ・危機回避能力の育成

### 地域と共にある学校

- ◎学校からの積極的な情報発信
- ◎家庭や地域との連携の充実
- ・地域資源活用の推進

## 具体的な取組

- ・児童会による朝の挨拶活動の成果をフィードバックして、(あいさつマスターの紹介掲示や表彰など)児童にあいさつの現状を伝え、意識を高める。
- ・掃除の様子を家庭や地域に伝えることで、児童の意欲を高める。
- ・ボランティアの力を借りて、読書タイムや図書の時間の充実を図る。

- ・対話の三本柱「対話の成立」「対話の必然性」「対話の深まり」について分担して研究を進めていく。
- ・自主学習ノートを利用し、得意な学習、やりたい学習への意欲づけを行う。
- ・太田タイムによって知識及び技能の獲得を図る。

- ・外遊びを推進するとともに、体育での体づくり運動の強化、新しい競技の教材化など楽しく運動する機会を増やす。
- ・保健指導を通して、健康への意識を高める。
- ・避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

- ・学校HPを充実させ、積極的に学校の情報を発信する。
- ・授業のゲストティーチャー、読み聞かせのボランティア等の人材や地域の自然・文化を積極的に活用する。

## 指標

- ・朝の挨拶をした人数の割合 (95%)
- ・掃除を頑張った人数の割合 (95%)
- ・読書が好きである人数の割合 (80%)

- ・授業で自分の考えを伝えることができた人数の割合 (80%)
- ・週1回以上、自主的に家庭学習を行う人数の割合 (80%)

- ・学校で運動している人数の割合 (80%)
- ・学期に1回の避難訓練の実施

- ・学校の様子がよくわかると答える人数の割合 (90%)
- ・各学年で地域との交流を授業の中に入れるようにする。

◎：特に重点的に取り組むこと